



Vol.8

400年超の歴史を体感!

福井城址

福井市大手

徳川家康の次男で福井藩初代藩主の結城秀康が、慶長11（1606）年頃に築いた福井城。その城郭は徳川御三家をしのぐ規模を誇りました。明治以降、櫓や城門は取り壊され、四重五重の水堀も徐々に埋められました。本丸の石垣と内堀は400年以上たった今もほぼ形を変えずにことなく現存しています。

県では、福井城址の魅力を発信するため、石垣のライトアップを実施。毎日、日没後から22時まで点灯し、笏谷石の石垣が堀の水面に映り込み、趣ある風景を描き出します。また、ありし日の福井城をVRで体感できる専用アプリ「ストリートミュージアム®」を提供しています。

県はこれまで、福井城址の歴史的価値をさらに高めるため、「御廊下橋」や「山里口御門」の復元整備を行ってきました。現在は、櫓や本丸西側土堀の復元を進めており、令和11年度に完成予定です。往時の櫓は高さ16mの3層5階建てで、代用天守としての役割を担っていたと考えられています。復元されれば、県内で一番大きな城郭建築物になり、福井駅からも見えるようになります。新幹線駅に降り立つてお城が見えるのは全国的にも珍しく、新たな観光資源となることが期待されます。



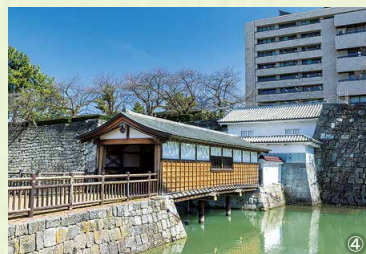
①



②



③



④



⑤



⑥

①石垣ライトアップは「電球色」と月ごとに替わる「季節カラー」で幻想的な空間を演出
②坤櫓（ひつじさるやぐら）の完成イメージ ③福井城をVRで復元するアプリ「ストリートミュージアム®」 ④中央公園から見た御廊下橋と山里口御門 ⑤福井駅の駅前広場から見える坤櫓のイメージ ⑥福井城櫓等復元募金記念品

※現在は復元工事のため、お堀の一部区画を埋立てしています。

千年文化について
詳しくはこちら



<お問い合わせ>

交通まちづくり課

TEL/0776-20-0724



TOPIC

県では、坤櫓や本丸西側土堀の復元整備の財源として、福井城櫓等復元募金を集めています。いただいた募金額に応じて、御城印や福井城オリジナルタンブラー、福井城旧景「御本城橋」トートバック、福井城オリジナル御城印帳など福井城ゆかりの記念品を進呈。ご支援よろしくお願い申し上げます。



福井城櫓等復元
募金について
詳しくはこちら